

宇都宮市立富士見小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「英語の学習は好きですか」について、肯定割合が83.8%と、国の平均を14.5ポイント上回っている。また、「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いませんか」について、肯定割合が82.9%と、国の平均を10.4ポイント上回るなど、英語学習の意欲の高さがうかがえる。引き続き、ALTを活用しながら授業を行ったり、スライドで学習したことをまとめたりしながら、興味関心を高めていけるよう指導していきたい。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について、肯定割合が98.1%と、国の平均を1.2ポイント上回った。一人一人が、いじめがよくないことだと自覚していることがうかがえる。道徳の授業において、いじめ問題について考えたり、まごころカードやいじめゼロ強調月間の取組、学校生活アンケート等を活用したりすることで、いじめに対する認識を深め、友達と互いに協力し合える行動実践への意欲を高めさせたい。

○「5年生までに受けた授業で、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」について、肯定的割合が85.7%と国の平均を11.3ポイント上回った。また、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」について、肯定割合が91.4%と国の平均を16.6ポイント上回った。学習において、スライドで資料をまとめたり、発表のために自分の考えを整理したりする経験から、少しずつ子供たちが自信をもって活動に臨む様子が見られた。個人用端末をさらに使うことで、より短時間で多くの情報を得たり、友達との意見を共有したりすることのできるよさを生かしながら、自分の意見をさらに広げられるように指導したい。

●「将来の夢や目標を持っていますか」について、肯定割合が73.3%と国の平均を8.2ポイント下回った。各教科において、「学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いませんか」の肯定割合が国の平均よりも高いことから、学習が役に立つと考える一方で、将来の夢や目標をもてていないということがうかがえる。総合的な学習の時間におけるキャリア教育を通して、自分の未来を想像し、具体的な夢や目標をもったり、それに向かって前向きに取り組んだりできるように支援していきたい。

●「人の役に立つ人間になりたいと思いませんか」について、肯定割合が95.2%と国の平均を0.7ポイント下回った。全体としては高いものの、当てはまらないと回答した割合も高かった。学級の当番や係の仕事、なかよし班での活動を通して児童が活躍する場面を作ること、自己有用感を高めたり、友達と助け合うことのよさを味わわせたりできるように支援していきたい。また、まごころカードを活用するなど、互いに感謝の気持ちを伝えられるような場面をつくっていけるようにする。

●「国語の勉強は好きですか」及び「算数の勉強は好きですか」について、肯定割合が54.3%、60.0%と国の平均をそれぞれ7.2ポイント、1.4ポイント下回った。一方でそれぞれの教科について、「勉強は大切だと思いますか」の肯定割合が国の平均よりも高いことから、学習することは大切だと感じつつも、それに取り組むことに対する気持ちが低いことがうかがえる。児童の興味関心をもてる学習課題の設定をしたり、学習者主体の授業づくりを目指したりするため、ICTを活用するなど個別最適化を図っていききたい。

宇都宮市立富士見小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・基礎基本の確実な定着	・朝の学習時における漢字や計算練習の実施、ステップアップシートの活用 ・AI型学習ドリルを活用した、個に応じた基礎的・基本的知識・技能の定着	・「学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」については、2問どちらも国の正答率を7ポイント上回った。 ・数と計算の領域については、国の正答率を全ての設問で上回っており、中には10.8ポイントも上回っている項目もある。 ・2教科とも「知識・技能」「思考・判断・表現」において、国の平均正答率を上回っている。
・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	・各教科の見方・考え方を働かせる教師のコーディネート工夫 ・「何を学んだのか」を実感させることのできる振り返り工夫 ・各種学習調査の結果の分析と指導改善	・「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の問いに対する肯定割合は83.8%で国の肯定割合を6.4ポイント上回っている。
・個に応じた指導の推進による学習意欲の向上	・興味、関心をもって取り組める学習課題の設定・教材の開発	・「5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」の問いに対する肯定割合は93.3%で、国の肯定割合を10.4ポイント上回っている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
教科に関する調査において、いくつかの情報を基に整理して書くような記述式設問における無回答率が、12.9%の項目があるなど、他の設問に比べて高い傾向にある。「書くこと」に対する意識に課題が見られる。	自分の思いや考えを表出させるための支援	授業時間では、思考する時間を十分に確保し、自分の思いや考えを表出できるようにする。また、自分の言葉で授業のまとめをしたり、自分の考えを振り返って記入したりするなど、大事なポイントを押さえながら短い言葉でまとめるという経験を積み重ねていけるよう、引き続き指導を行う。さらに、児童に寄り添いながら思考の過程を励ますことで自信をもたせたり、友達のよい文章を提示して参考にさせたり、諦めずに挑戦する意欲を高めるようにする。